

2019.2.14

日本共産党県議団を代表し、議第 66 号および 67 号議案の工事請負変更契約の締結、雄勝港防潮堤災害復旧工事について反対の立場から討論を行います。

契約変更は 7 回目で、今回はわずかの減額変更ではありますが、TP9.7 m もの防潮堤を雄勝湾奥部に画一的に造ることに党県議団は当初から反対してきました。

「持続可能な雄勝をつくる会」からの防潮堤の高さは是正も無視したまま、時間がないという事で強行しました。さらに平成 29 年 3 月にも、住民代表からは署名を集めて議会に改善を求める陳情が出されたことを記憶しています。

結局今はどうなっているか。私は先日も工事現場を改めて見て写真も撮ってきました。守るべきものがないところに、しかも要塞のような高くて頑丈な防潮堤が建設中であります。山と海側の防潮堤に挟まれて県道が通っている異様な景色です。安全上も逆効果です。

この高すぎる防潮堤に住民からも不満が出ていますが、雄勝に観光で来た人たちがこの状況を見てどう思うか、とても心配です。

一方隣接する雄勝湾中心部は復興住宅などが高台移転となり県道も高台に付け替えされ、TP9.7m もの防潮堤は全く必要ないものとなりました。

知事の言う「創造的復興」の一つの失敗例をここに見ることが出来ます。貴重な復興予算をかけ、大変悔いの残る工事となったこの 2 つの議案には同意できないという事を申し上げ討論とします。